

カラーの育て方

■ 年間作業カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開花					■							
植付				■								
施肥				■								

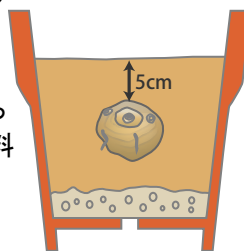
植え付け(気温が安定する4月中旬～5月上旬が適期です。)

● 庭(花壇植え)の場合

1. 半日陰で風通しがよく、水はけのよい場所を選びます。
※半日陰とは、午前中、日なたで午後は日陰となる場所です。
2. 土に腐葉土やパーライトを混ぜ、元肥として緩効性肥料(50g/m²)を混ぜ込み耕します。
3. カラーは上根が張るので球根の2倍の深さ(5～6cm)となるよう植え付けます。

● 鉢植えの場合(鉢サイズ目安:5～6号)

1. 鉢底ネットを敷き、底に3cm程度鉢底石を入れます。
2. 用土は、赤玉土、腐葉土、パーライトを6:3:1ぐらいの割合で配合した土に、元肥として緩効性肥料を3～5g程度を混ぜ合わせた用土を使用します。
3. カラーは上根が張るので球根の2倍の深さ(5～6cm)となるよう植え付けます。



水やり

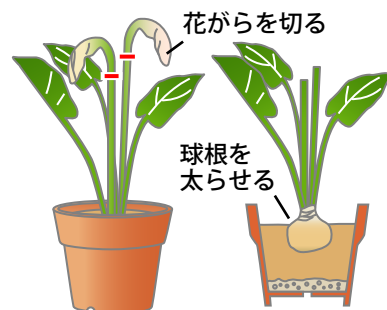
生育期は、土の表面が乾いたらたっぷり水を与えます。葉が黄色くなったら、水やりを控えます。
※与えすぎると球根が腐敗することもあります。

肥料

春、元肥として球根の肥料を混ぜ込んだ土に植え付けるようにします。
※生育中の追肥よりも元肥の方を重点をおきます。

開花後の管理

花が終わった後は、花茎のみを切り取り、葉を十分に生長させます。
※葉を切り取ってしまうと、球根が太らず、翌年花が咲かないことがあります。
高温を嫌うので、鉢植えで管理している場合は、風通しの良い半日陰で管理します。庭植えの場合は、遮光を行い、温度上昇を防ぎます。
鉢植えの場合は葉が枯れはじめたら、涼しい所へ移動させます。葉の上の方が腐るように枯れてくるので、菌が球根へ行かないように枯れてきたら地際3～5cmのところで切り取ります。



冬の球根の管理

※カラーの球根は、寒さに弱く低温で管理すると腐敗する場合があります。

	球根を掘り上げる場合	球根を掘上げない場合
庭植えの場合	気温が低下し、葉が完全に枯れたら、球根を傷つけない土を取り除いて、2～3日陰干しをした後、ように掘り上げます。軽く湿らせた水ゴケに包み、5℃以下にならないような場所で保管します。 ★冬に管理した球根は、4月頃に植え付けます。	※関東以西の暖地のみ盛り土や腐葉土などを球根にかぶせ、霜よけをして越冬させます。
鉢植えの場合		※鉢植えの場合は掘り下げないようにします。葉が黄色くなったら水やりを止め、そのまま乾かし気味に管理をします。 気温が5℃以下にならない、場所で管理をします。

